

老年看護学臨地実習I

必修

開講年次：3年次前期

科目区分：実習

単 位：1単位

講義時間：45時間

■**科目のねらい**：地域で自立・自律した生活を営む健康な高齢者との触れ合いを通して、高齢者の暮らしや健康への配慮の仕方を体験的に学ぶ。その学びを通して、加齢に伴う身体的・精神的・社会的要因、健康および日常生活上の課題について考察する。

- 到達目標**：
1. 施設の地域で果たす役割や機能を説明できる。
 2. 施設の運営にかかわる人や職種について説明できる。
 3. 健康高齢者が施設を利用することの意義、意味を説明できる。
 4. 健康高齢者の暮らしぶりや自己の健康への配慮の仕方を説明できる。
 5. 健康高齢者の加齢に伴う身体的変化について具体的に説明できる。
 6. 健康高齢者の加齢に伴う社会的変化について具体的に説明できる。
 7. 健康高齢者の加齢に伴う精神的変化について具体的に説明できる。
 8. 健康高齢者が経験してきた疾病や健康課題について、どのような経験を経て今の生活があるのか説明できる。
 9. 利用者の安全に注意を払い、事故防止に努めることができる。
 10. 保健医療を担う一員であることを自覚し、必要時には指導者や教員へ報告や相談ができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎原井 美佳・村松 真澄・中田 亜由美

■**授業計画・内容**：

実習は施設（老人クラブ、老人福祉センター）で行う。

詳細は実習要項を参照のこと

■**教科書**：使用しない

■**参考文献**：奥野茂代 編著 老年看護学概論と看護の実践 第5版 東京 ヌーベルヒロカワ 2013

■**成績評価基準と方法**：出席日数、実習内容、実習記録などから到達目標の達成度を総合的に評価する。

評価方法	評価基準	評価割合 (%)
実習	到達目標達成度 主体的な姿勢	55
実習レポート	内容の適切性	20
インタビュー	記録の適切性	10
カンファレンス	記録の適切性	10
実習報告会	質疑の参加状況	5
出席	2/3以上の出席	欠格条件

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：これまでの老年看護学の学修を統合する実習です。対象者との交流から学ぶという姿勢を大切にして下さい。挨拶や言葉遣い、身だしなみに留意して実習に臨んで下さい。